

コサックダンス ご一緒に♪

日本とロシアの文化交流を図る「日露文化交流の夕べ」が7日、渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルで開かれ、観光業界をはじめ各界の招待客約120人が出席した。主催はロシアのエネルギー会社「En+GROUP」（オレグ・デリパスカ代表）。今年4月の安倍晋三首相とロシアのプーチン大統領の首脳会談を受け、民間の文化交流活動の一環として企画された。メインイベントはロシアを代表する民族合唱団「国立クバン・コサック合唱団」のコンサートで、伝統的な民族音楽に合わせ、歌や踊りを披露＝写真。合唱団のメンバーは会場の観客と一緒にコサックダンスを踊り、両国間の交流を深めた。

渋谷で日露文化交流の夕べ



会場に茶道体験やいけばな展示のコーナーなども設け、伝統的な日本文化を紹介した。イベントを企画した「コア・エス」（本社・港区）の矢幡聰子社長は「両国が大切にしている伝統文化を通じて相互の理解と親善を深め、より良い関係になることを確信していく」と話していた。